

# こんにちは！ 名寄市長 加藤剛士です



Vol.13

このコーナーは、Airてっし（エフエムなよろ）との共同企画で、テーマを市長が設定し、本誌ではコラムとして、Airてっしではパーソナリティーとの対談で放送いたします。

## 第27回東京なよろ会総会 ～故郷に対する熱い思いに触れて～

先日、「名寄・藤島交流友の会」の皆さまと一緒に、初めて山形県鶴岡市藤島を訪れる機会があり、名寄地区の母村の歴史に触れるとともに、当時の開拓団の話をお聞きすることができました。故太田豊治氏を団長とする開拓団が、当地こそ子々孫々にわたっての理想の地と定め、未開の地に鋤を入れたのが110余年前、厳しい自然との闘いは想像を絶するご苦労があったことと存じます。大きな理想と希望を胸に、勇気と情熱に燃えて、「公」のために身を捧げられた、当時の先人の思いを想像する時、あらためて胸の熱くなる思いです。

さて、本年10月22日に「東京なよろ会」の総会が東京で開催され、会員の皆さまとは1年ぶりの再会となり、大いに交流を深めてまいりました。振り返りますと、今年は東京で、名寄の魅力を大きく日本全国に発信する機会が、実に多かった年でありました。2月には映画「星守る犬」の試写会、5月には杉並区役所前におけるアスパラ販売と南相馬チャリティフェアへの出店、8月には高円寺阿波おどりへの参加、9月と10月には銀座でひまわりを中心とした名寄市のPR、代々木ふるさとフェスティバルへの参加、中野区で商店街イベントへの参加、さらには阿佐ヶ谷ジャズストリートでの名寄市物産展の開催。

これら東京で開催されたイベントへの参加の背景には、友好交流都市、杉並区の絶大な支援がありました。総会には、杉並区長としてはじめて、田中区長が来ていただいたことも大きな喜びであり、合併以降も杉並区と名寄市の交流が着実に深化していることを実感しました。そして、「東京なよろ会」の役員と会員の皆さまに、これらの行事に必ず応援、参加、協力していただいたことが、何より大きな力となりました。会員各位の大変なご尽力に対しお礼を申し上げます。「名寄市を売り込む機会が増えたこと、それが非常に嬉しいんだよ！」と、本当にありがたい声。逆に、地場産品を含む

地域資源の販路の拡大、PRの手法、さらには企業誘致の話など、さまざまなアイデアをご提言いただきました。

東京に住む名寄ゆかりの皆さまにとって、本来名寄市の発展は現状の自らの生活に影響はないはずですが、しかし、今住んでいる我々以上に名寄市のことを真剣に考えていただいております。何が皆さんを突き動かすのか。開拓に夢を描き、苦勞を重ねた入植者の熱い血が流れていることに加え、離れて暮らしているからこそ、名寄市で生まれ、あるいは育てていただいた、故郷への感謝の気持ちが強いということかもしれません。今一度、私もこの地に生を受け、今を生きていることへの感謝の気持ちを忘れずに、名寄市の輝かしい歴史をこれからも積み重ねるために、そして何より遠くから応援をいただいている皆さまに報いるためにも、さらに精進してまいります。

「東京なよろ会」の今後の発展はもちろん、この力強い応援の輪がさらに広がるためにも、市民の皆さま、お知り合いの方が東京近郊にいらっしゃいましたら是非、「東京なよろ会」への入会、あるいはスキーツアーへの参加のお声掛けをよろしくお願いいたします。

東京なよろ会のホームページアドレス  
<http://t-nayoro.jp/>

※この企画のAirてっしでの放送時間は、毎月1日と10日の午前と午後の予定。土・日のときは、その翌日の放送となります。



「名寄市からののお知らせ」を放送中

市からののお知らせやイベント情報などを紹介しています。

放送＝毎週月～金曜日 ① 8:10から ② 12:30から ③ 17:10から